

北浜コミュニティセンターだより

きたはま

令和5年
6月号
No.64

発行：
北浜コミュニティセンター
TEL 66-0002 FAX 66-0016

北浜地区の人口 (R, 5, 5, 31)

世帯数	男	女	合計
385	465	477	942
(昨年同期比) △4	△15	△17	△32

入学おめでとう

令和5年度入学式



北浜のニューフェイス

令和5年度の北浜小学校新入学生は、人数が昨年度より1人多い4人で、男子、女子とも2人ずつの構成となりました。

小学校生活6年間のうち、その1/3にあたる2年間は、北浜小学校ですが、その倍の4年間は、「旅伏小学校」へ通学することになります。
全校児童数は20人で、昨年度当初の21人から1人の減となりました。



✿児童左から

おざわ えいご
小澤 瑛伍 くん

おちあい のあ
落合 望空 さん

はしもと みなみ
橋本 美波 さん

みはら いつき
三原 樹 くん

北浜自治協会



令和四年度北浜地区島根県出雲県土整備事務所長要望は、令和四年九月六日(火)に園山繁島根県議会議員を通じて提出していただきました。提出後半年経過した三月十日(金)に、出雲県土整備事務所から梅維持管理部長ほか三名の職員が北浜コミュニティセンターへ訪問され、回答が本日とたいへん遅くなったことに対する謝罪と要望事項に対しては誠心誠意前向きに考えたものであるとの弁明、さらには、本日が要望事項に限らず、情報共有の場にしたいたいとの思いを含めた発言がありました。

北浜地区サイドからは、小林北浜自治協会会長、川瀬北浜地区土木委員協議会会長及び山根セクター長の三名が聴取し、意見等を申し述べました。

要望事項及び回答内容は次のとおりです。

要望1 「県道十六島直江停車場線の北浜小学校北側付近の拡幅について」

一月二十三日(月)に現地確認した。用地の問題があるが、土地所有者も確認できた。買取可能かどうかも含めて、令和五年度検討させていただく。



要望2 「十六島大光寺北側付近の落石防止ネット設置(途中で寸断している状態)並びに」

「一帯の落石及び地すべりの調査・対策について」

三月六日(月)に住職と一緒に現地確認し



た。落石防止ネットの背後地は、擁壁、ストーンガードがあり、途中で寸断している箇所への落石の心配はない。一帯の対応面でも、地すべり等の起因となる事象は確認できなかった。

要望3 「主要地方道斐川一畑大社線相代地内の出合橋(いでやばし)から旧簡易水道相代水源池までの左岸側護岸整備について」

間壁組に施工してもらい、左岸側は工事が完了した。残る道路側も何らかの対応をしていく。

なお、左岸側については、現状以上の対応は困難である。また、治水上、問題になるときや河道内への倒木等については、県土へ情報提供していただき、そのうえで対応していく。



要望4 「主要地方道斐川一畑大社線と県道十六島直江停車場線とのT字路(小津地内)周辺一帯の道路拡張、地すべり対策等について」

地元土木委員さんと現地確認した。地すべり跡が複数存在することであるが、長い年月により、山肌の斜面浸食はあるが、地すべりが発生した箇所はなく、その可能性も極めて低い。

道路沿いの擁壁の目地については、昨年十月から道路パトロールで定点観測実施中。

監視を続けているが、動きはない。目地の開きは、コンクリート打設時の打ち継ぎ目が見えなくなったものである。



要望5 「塩津町大浦町地内の法面保護対策、待ち受けネットの設置及び待ち受け擁壁内の樹木伐採について」

法面保護対策の関係では、泥水が道路に影響するような事態になれば対応する。

待ち受けネット関係では、落石対策の防災カルテ点検を実施中。ストーンガード等の点検監視を続けているが変状の進展はみられない。緊急法面対策には及ばないが、継続して点検を実施していくなかで、緊急対応が必要となれば、すぐに連絡をいただきたい。

樹木伐採の関係では、治山施設の維持及び管理を担当する東部農林水産振興センターへ伝えている。県の土地ではない保安林、民地であり所有者対応が原則である。現地をみたところ、個人では厳しいので、何らかの対応が必要と感じた。いずれにしても、東部農林水産振興センターの林業部が確認するので、何らかのアクションがあると思われる。



要望6 「主要地方道斐川一畑大社線相代地内の出合橋（いでやばし）から上方左側（山側）約二〇〇mの間で頻繁に発生する落石の防止対策、雨水の流末の対策及び倒木の危険を回避する対策について」

落石防止対策の関係では、用地買収後、速やかに着手する。

雨水の流末対策の関係では、令和五年度に、側溝蓋、堰き止めコンクリート等正常な状態に対応する。

倒木の危険回避対策の関係では、昨年九月下旬に、本来所有者が対応すべきところを緊急対応として、県が伐採した。



要望7 「十六島本郷区沿岸（漁港区域外）における擁壁のひび割れ補修、消波ブロックの据付等の対策について」

擁壁のひび割れ補修の関係では、まず、令和五年度にひび割れ調査から進める。放置すると進行していくが限られた予算での対応となり、補修方法の検討等、地元と協議して進める。

消波ブロックの据付等の対策の関係では、今すぐできないし、対応策も考えていない。経年的なものであるが、背後地のことを考えれば緊急性は低い。また、市道へ波が届くかどうか不明であり、飛沫は来るにしても波の対策は様子をみてからになる。



要望8 「主要地方道斐川一畑大社線美保地内の落石注意標識A410について」

A411の区間における斜面修復について

A411の塩津診療所付近は、事業着手済みで、用地を買収した後は、早急に対応していく。

A410付近は、カルテ点検中の箇所であれば緊急対応はしていく。



要望9 「市道美保上組線小浜大橋下の奥山川に敷設されたコルゲート管の取替えについて」

令和五年度予算に要望しており、修理する。

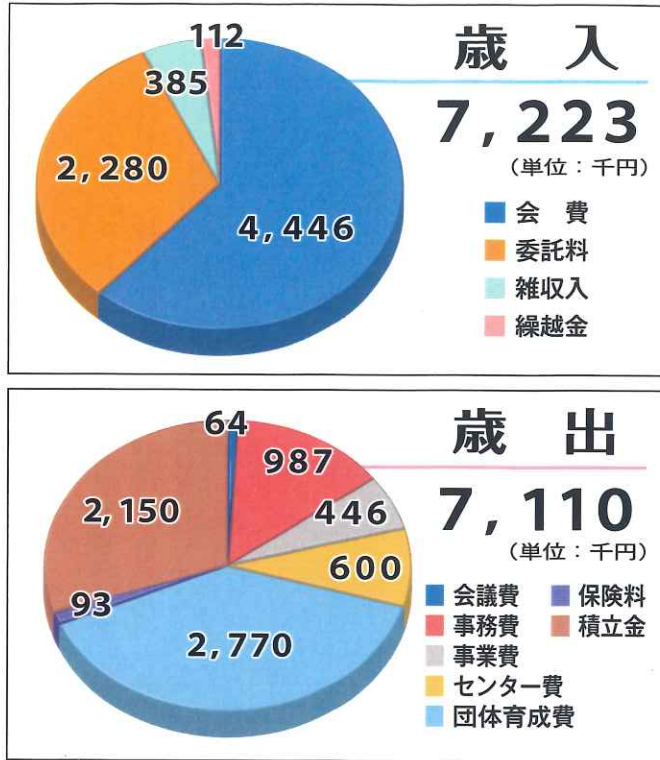


令和四年度

北浜自治協会決算報告(暦年)

令和四年度の自治協会の主な事業は、通常の自治推進に関する会議等の他に、島根県出雲県土整備事務所長及び出雲市長への要望活動を実施しました。しかしながら、新型コロナ禍ではありましたが、ここ近年とは異なり、地区内の諸団体によるイベント等が復活するなど、わずかながらも回復の兆しを感じる年となりました。

令和四年度決算(暦年)について概要を報告します(単位:千円)



(差引残金 一一三千元は令和五年度へ繰越)

令和五年三月二十七日(月)開催の北浜自治協会議事会・総代会にて承認されました。

北浜自治協会基本財産・まちづくり支援基金の状況について

◎基本財産	8,060,417円
◎まちづくり支援基金	14,906,346円
合計	22,966,763円

令和五年度自主企画事業

今年度の自主企画事業は三つの部が十四の事業を計画しました。

【総務安全部】

- ★広報の発行(年四回)
- ★北浜つこのつどい(七月二十九日)
- ★防災訓練(九月三日)



- ・車いす使用による避難所への移動
- ・避難所資機材(段ボールベッド、段ボールトイレ、テント)の組立て

- ★北浜地区文化祭(十一月四日)



【文化環境部】

- ★地域の野草を探してみよう(八月三十日)
- ★寄せ植え教室(九月二十九日)
- ★ごみ拾いウォーキング(十月二十九日)
- ★出雲エネルギーセンター施設見学(十一月頃)



【健康福祉部】

- ★森林セラピー「飯南の森を歩こう」(四月二十二日)
- ★グラウンドゴルフ大会(五月十四日)
- ★そば打ち体験(六月十日)
- ★ふれあい遠足(六月十三日)
- ★親子ふれあい遠足(七月十五日)
- ★ものづくり体験(七月二十五日)



★ 北浜地区関係諸団体代表者等

団体名	会 長	副 会 長 等
自治協会	小林 幹治	副：川瀬 英・浜村 喜仁・山根 幸徳 顧問：渡部 邦男
区長会		常松 富広 (相代)・錦織 直治 (小津)・樋野 剛 (多井)・三原 元治 (十六島)・岡 勇二 (釜浦)・松村 和博 (塩津)・佐藤 弘宜 (美保)
社会福祉協議会	山根 幸徳	副：小村 修・川瀬 順子
コミュニティセンター運営委員会	川瀬 英	副：佐藤 康治・小村 修
コミュニティセンター事業委員会	山根 秀	副：浜村 喜仁
体育協会	三原 真吾	副：樋野 陽一・高橋 昌司・佐野 美保 顧問：山根 強
消防後援会	川谷 卓	副：錦織 幸彦・山根 強 顧問：小林 幹治
交通安全対策自治会	三原 元治	副：川谷 久光
寿会連合会	南木 光男 (十六島)	副：周藤 鶴夫 (釜浦) 川瀬 重光 (相代)・川瀬 幸夫 (小津)・樋野 良行 (多井)・川谷 明久 (塩津)・佐藤 充人 (美保)
土木委員協議会	川瀬 勇 (相 代)	副：川谷 清水 (塩津) 川谷 豊正 (小津)・岡 佳津彦 (多井)・渡部 晃 (十六島)・和泉 正善 (釜浦)・山根 正 (美保)
民生児童委員協議会	川谷 吉正 (塩津)	副：岡 光夫 (釜浦) 委員：常松 富広 (相代)・小村 修 (小津)・樋野 正治 (多井)・渡部 享次 (十六島)・佐藤 康治 (美保) 主任児童委員：渡部 かめ子
人権尊重のまちづくり推進協議会	山根 幸徳	副：川瀬 英
青少年健全育成協議会	山根 強	副：松村 幸司・三原 元治
出雲市消防団北浜分団	渡部 修也	副：落合 崇 伝令班長：吉川 忍
北浜小学校教育後援会	三原 元治	副：樋野 剛・田中 人士・佐野 美保
北浜小学校PTA	南木 洋一	副：川瀬 智良・佐藤 カンナ・小澤 仁 顧問：佐野 美保
出雲市環境保全連合会北浜支部	浜村 喜仁	
保護司	渡部 享次	
更生保護女性会北浜支部長	小澤 哲世	
十六島駐在所 (警部補)	石橋 孝夫	
少年補導員	樋野 徹	
地域安全推進員		三原 元治・山根 強・川谷 久光
交通指導員	三原 元治	
安全パトロール隊	岡 光夫	
遺族会	山根 武紀	福岡 瞭一
健康づくり推進員		小村 和枝・渡部 かめ子・土江 京子
花と緑のサークル	渡部 富裕美	

コミュニティセンター職員体制

令和五年四月一日からの職員体制は、次のとおりです。引き続き、よろしくお願いいたします。

役職	氏名	付記事項
センター長	山根 秀	留任
チーフマネジャー	錦織 玲子	昇任
マネジャー	錦織 美佳	留任
マネジャー	安食 恵子	新任

退職のごあいさつ

松浦 美治代

このたび三月三十一日をもちまして、北浜コミュニティセンターを退職いたしました。

平成二十三年から十二年間、至らぬ点多々あったかと思いますが、地域の皆様方に助けていただきながら勤めさせていただきましした事に、心から感謝申し上げます。

在職中には、たくさんの方との出会いがあり、地域の様々な事を学ばせていただきました。本当にありがとうございました。

終わりにになりましたが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申しあげ、退職のあいさついたします。

就任のごあいさつ

安食 恵子

四月からお世話になることとなりました安食恵子と申します。

地区外からの勤務のため、教えていただくことばかりになると思いますが、どうぞご指導のほどよろしくお願いいたします。

イベント・活動紹介

自主企画事業



グラウンドゴルフ大会

＊ 三月五日 ＊

北浜地区体育協会が令和四年度に二回主催した大会と別に、年度末の三月五日(日) 午前八時三十分から北浜小学校校庭において、健康福祉部主催のグラウンドゴルフ大会を二十四名の参加者により開催しました。

〔大会結果〕

- ◆ 優勝 錦織 則夫さん(多井)
- ◆ 二位 河原 武夫さん(多井)
- ◆ 三位 三原 元治さん(十六島)



グラウンドゴルフ大会

＊ 五月十四日 ＊

令和五年度としては、北浜地区では初となる大会を五月十四日(日) 午前八時三十分から北浜小学校校庭において、北浜地区体育協会と健康福祉部の共催、三十名の参加者により開催しました。前日が雨天であったため、校庭の一部は水たまりのある状態でしたが、元気はつらつ、和

気あいあいのとても充実した時間が過ぎました。

〔大会結果〕

- ◆ 優勝 川瀬 良平さん(小津)
- ◆ 二位 樋野 剛さん(多井)
- ◆ 三位 錦織 則夫さん(多井)



第二回ごみ拾いウォーキング

＊ 三月十二日 ＊

令和四年度としては、二回目の「ごみ拾いウォーキング」を文化環境部と健康福祉部の共催で、三月十二日(日) 午前九時から北浜小学校前をスタート・ゴールとして風車公園管理棟までの往復約5kmのコースを十名の参加者で実施しました。

前回七月と比較すれば、量的には若干多くはなっていますが、片道二・五kmの道のりからすれば、微量であり、まずまず良好な環境にあると思われました。



森林セラピー

＊ 四月二十二日 ＊

令和五年度としては、初となる自主企画事業で、健康福祉部主催の「森林セラピー 飯南の森を歩こう」を四月二十二日（土）に十九名の参加者で実施しました。

天候にも恵まれ、新緑の美しい木々の下を約二・五km、気持ちよく散策しました。四季を通じて楽しめることとあり、昨年の秋、今年の春に続いて、次回は夏に避暑を兼ねて実施できればと考えています。



その他

十六島風車公園日常管理業務

出雲市と北浜自治協会との間で平成二十三年度から受委託契約を締結している「十六島風車公園日常管理」については、当初から、北浜自治協会が再委託する形で十六島町の小澤清司様にお世話になってきたところでした。

今般、令和五年度からは、「十六島湾じげおこし会」（河原武夫会長）



へ委託することとなりました。

小澤様、長い間お世話になりました。

十六島湾じげおこし会の皆さま、よろしくお願いいたします。

平田高校ウイングバスツアー

六月七日（水）、平田高校ウイングバスツアーが令和元年から五年連続で開催され、平田高校一年三組の三十四名の皆さんと二名の教職員が北浜コミュニティセンターに来訪されました。

はじめに、北浜地区の概要を説明し、続いて事前にいただいていた質問事項等の回答を行いました。その後、小型バス二台にて風車公園と義勇の碑を回りました。風車公園では、新出雲ウインドファーム職員（名原事業所長ほか二名）から風力発電に関する説明を受けました。また、今年は一号機の内部も見学することができ、貴重な体験となりました。そのうち、義勇の碑へ向かいましたが、落石のため五月二十九日から再び市道多井釜浦塩津線が一部通行止めのため、西田地区、久多美地区を経由しての移動となりました。義勇青年顕彰会の佐藤康治事務局長の説明を受け、興味、関心を持った様子で必死にメモを取っていました。



北浜地区交通安全 対策自治会

北浜地区交通安全対策自治会の理事会及び総会を四月二十六日(水)に小津漁村センターで開催しました。



令和四年度の事業報告及び決算並びに令和五年度の事業計画案及び予算案が、いずれも承認されました。また、統一地方選挙の関係で例年より一か月程度遅くなる春の交通安全運動(五月十一日から二十日まで)についても、立哨及び啓発活動の周知徹底と協力依頼を図りました。

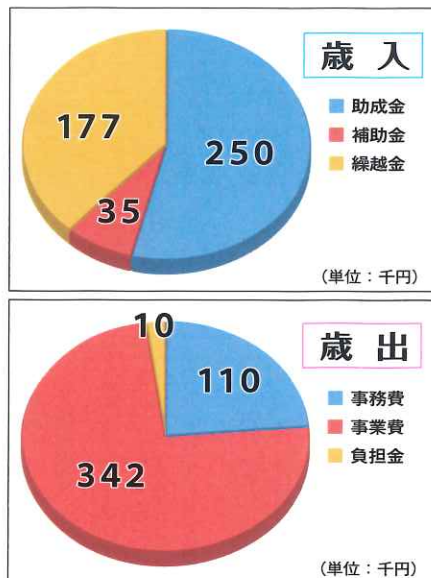
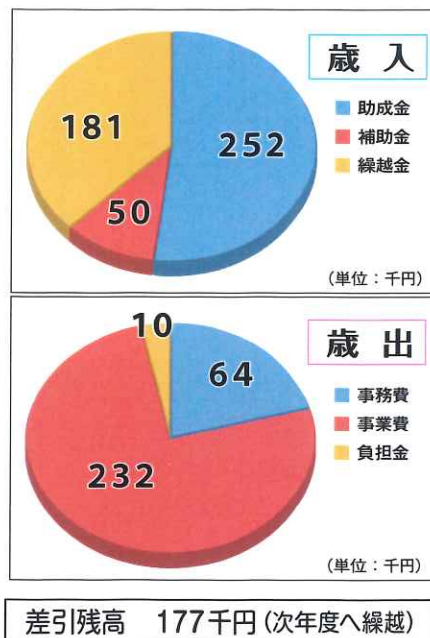
【令和四年度 事業報告・決算】

☆令和四年度は次のような事業を実施しました。

- ◆春(四月)・秋(九月)の交通安全運動(横断幕・のぼり旗の設置、立哨活動、広報車巡回)
- ◆夏(七月)の交通事故防止運動(東部及び西部の各一か所に横断幕・のぼり旗の設置)
- ◆北浜小学校児童への啓発品の提供(九月)
- ◆ドライブレコーダーを活用した高齢運転者の交通安全講習会(十一月)
- ◆シルバー安全運転コンテスト(七チーム参加)
- ◆しまね安全ドライブコンテスト二〇二二(八チーム参加)

歳入 四八三(単位:千円)

歳出 三〇六(単位:千円)



あ と が き

★梅雨シーズン到来となりました。

平年より八日、昨年より十三日早い五月二十九日に中国地方は梅雨入りしたとみられると気象庁が発表しました。鬱陶しい季節であるが故に、いかにストレスを回避するかが重要となってきます。ポイントは、多々あるようですが、「睡眠の質を整える」、「食生活を見直す」、「日光を浴びる」、「適度な運動」等が有益であるようです。

★「またか!」がキーワードです。梅雨入り発表となった五月二十九日に市道多井釜浦塩津線の釜浦塩津間で、また落石が発生し、通行止めとなりました。令和三年七月の大雨災害により今年の三月三十一日までの約六三〇日に及ぶ通行止めを経て、通行可となつてからわずか2か月足らずでの発生に、北浜地区の劣悪な地勢を率直に認めざるを得ないところです。一刻も早い復旧を望みます。

★さて、時は遡つて五月八日。新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが五類感染症になりました。様々な規制が緩和される措置となりましたが、決して収束したわけではありません。現実、一か月経過した段階において、感染者数は増加傾向、病原性も弱毒化したとはいえない状況等からまだまだ油断できません。コロナが終わったかのムードを払拭していくことも重要であると専門家は警鐘しています。引き続き、リスクを意識していく必要があります。

